



地平線の遙かなたまで
緑の麦畑が広がる
雨は蕭々と降る

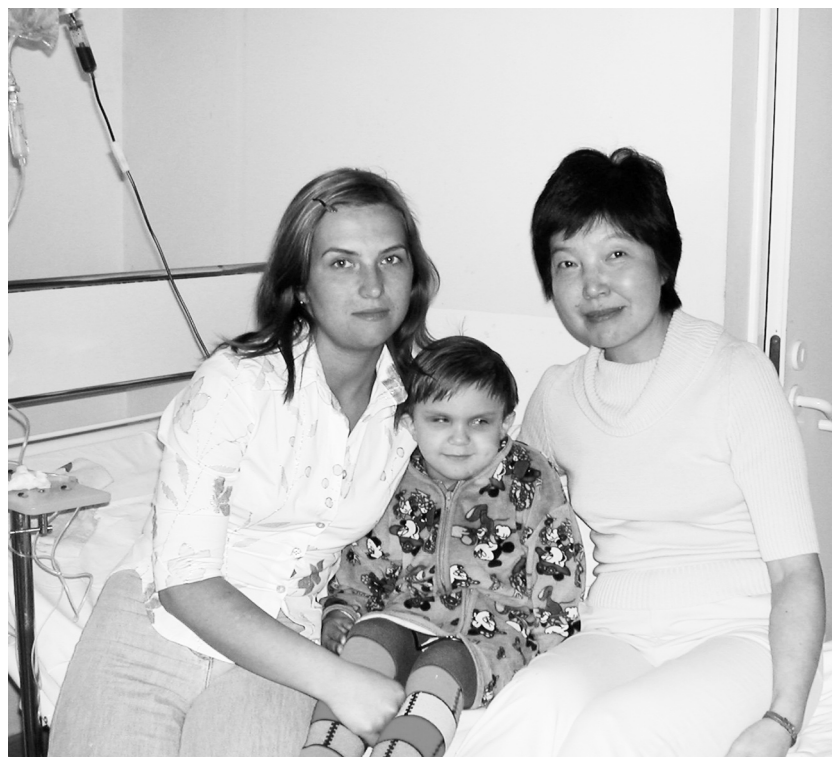
ベラルーシを疾駆しつつ
降り続く雨足に目をやる

今、この国を形作る為政者への信頼はなく
人々は仕事や生活におびえる
あらぶる声、不安な心が煙ってかすむ

低くたれ込めた薄灰色の雲
遠くに点在する牛の群
音もなく降りそそぐ雨

特集

2003 年度 J C F のとりくみ



ベラルーシ小児血液がんセンターで移植を待つ、マリアちゃんとおかあさん



56号 夏

CONTENTS

特集	2003 年度 J C F のとりくみ	
	共鳴と連帯を求めて！	6
	新生児医療支援＜松澤重行＞	10
	マリア基金	16
	第 68 次訪問団報告	20
	「アレクセイと泉」松本、佐久上映会	22
	那珂町通信	26
	連載随筆「まなざしのゆとり」＜宮尾彰＞	28
	ジーマのロシア小話	30
	モスクワ便り	32
	ベラルーシの食卓	33
	振替用紙のメッセージから	34
	ありがとうございました	41
	チェルノブイリ 10 ドリームズ 8	44
	出会い Встреча	45
	粗忽堂本舗＜村石保＞	50
	ニュースクリップ	52
	子どもたちに核も原発もない未来を！	54
	Здравствуй те！（事務局広場）	56
	本の紹介 Book review	60
	「アレクセイと泉」上映予定	62
	事務局日誌	63



◆ チェルノブイリ医療協力
 1 白血病プロジェクト
 ・ゴメリ州立病院小児血液病棟・移植部、国立小児血液がんセンターに入院している子ども達のサポート、小児血液の専門医の派遣と医薬品・検査試薬の供与を行う。
 ・信州大学医学部医療情報部が行っている衛星通信システムによるカンファレンスに協力する。

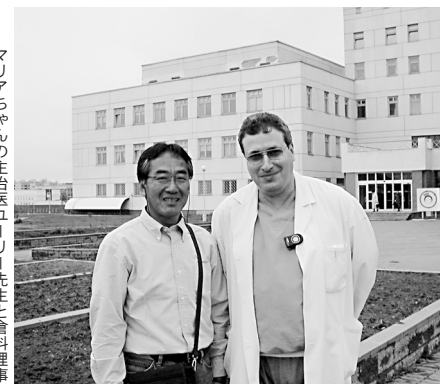


2 新生児プロジェクト
 ・超音波診断装置、生化学分析機など医療機器の供与と専門医を派遣し、ゴメリ州立病院附属産科で年間生まれる2500人の赤ちゃんが、脳性マヒなどの後遺症を残さないように、周産期医療のサポートを行う。

3 ポレーシェ学校児童一般健康診断
 ・5月の渡航で、放射線医学人間環境センター長と話し合った。センターは、大統領の命令で昨年来外部部門がオープンした。汚染地の子ども達の健診を行っていく、地区病院で行える場合は病院で、距離がある場合は検診車で血液検査と甲状腺の超音波診断を行う。経費は保健省から直接おろるので心配ないということだった。しかし、経済の逼迫したベラルーシでスタッフや検査・治療機器など十分に揃うとは思えず、今後どのようにチェルノブイリの晩発性障害について取り組んでいくのか、見守る必要がある。
 今年度は、センターの健診に同行させていたたいで、今後の関わりを考えていくことにする。

2003 年度 J C F 活動

共鳴と連帯を求めて！



マリアちゃんの主治医ユーリー先生と倉科理事
 (国立小児血液がんセンター)

昨年来、国際情勢は倫理、論理なき力がまかり通り、戦闘が続いている。こんな時こそ政治・宗教・民族の枠に左右されず、一住民の目で見、それぞれの足元から市民社会を構築する市民活動がその使命を明確にし、理不尽な流れに巻き込まれない社会の一端に確として位置したいと願う。

日本国内の原子力発電所のトラブル隠し・データ改ざんが相次いで発覚したが、保全が曖昧なままに、運転が再開されようとしている。J C F はチェルノブイリ原発事故の放射能汚染地への医療支援を行い、治療支援と平行して、「放射線と健康」の問題に取り組んできた。『チェルノブイリの子ども達を救おう』の使命は、とりもなおさず、災禍の科学的データを日本国内で伝えながら、＜原発にたよらない暮らし＞を提言していく、共鳴と連帯につながる。それぞれの専門分野に長けた方、ふつうの市民、高校・大学生、さまざまな方達との協力によって、今年度も国際医療支援と交流活動を行う事とする。

また、ゴメリ郊外にあたらしく建設された放射線医学人間環境センターが今後どのように稼働し、J C F はどのように関係するか、J C F の将来的な活動の方向性を探る年となろう。(事務局・神谷)

◆国内活動◆

1 JCF講座

「もしも、停電になったら・・・
原発にたよらない暮らし方をみつ
けよう」

トラブル点検のために停止中の原
発を、できたら止めたまま、夏を乗
り切れないだろうか。エネルギーは、
自然エネルギーを利用したり、各家庭
でどれだけ節約できるか、実践しなが
ら考えてみます。

JCF講座

「東海地震と浜岡原発」

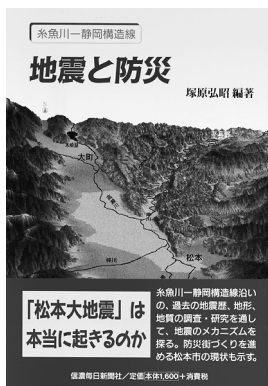


◎JCF講座 「東海地震と浜岡原発」
6月14日午後7時～9時
於松本市中央公民館（Mウィング）
下伊那郡大鹿村にある中央構造線博
物館の学芸員河本和朗さんを講師に迎
えて、東海地震と浜岡原発について学
習しました。地質学者の河本さんは知
識の宝庫です。フィールドワークと古
文書を駆使し、東海地震は現時点でい
つ起こってもおかしくないことを話し
て下さいました。

白鳳時代から昭和に至るまで、東海
地震は100～150年の周期で繰り返
し起こっています。前回は1854
年。そして、約60年前に、南海地震と
東海地震が起こっています。震源・マ
グニチュードなど地震の基礎的な知識
から中央構造線、糸魚川―静岡構造線
とフォッサマグナの基礎基盤と活断層
の走るラインを具体的に話して下さい
ますので、私たちは事務局のある浅間温泉

の危険度は、自宅はどうか、とひやひ
やです。東海地方では、地震対策が盛
んに言われています。昨年、長野
県諏訪地方も強化認定地域に指定され
ました。

陸プレートは1年に5mm沈降して
いるそうです。地震時にこれが一気に
跳ね上がったらどうなるでしょう。浜
岡原発付近の震源モデルが示され、地
震波と建物の構造についても、一概に
言えないさまざまな揺れがあるものと。
原発の建屋はどうだろう、と安全
である確証はありません。浜岡に吹く
風向きとチェルノブイリ原発事故によ
る放射性ヨウ素、セシウムの汚染地図



が東海・中部・西関東の地図が重ね合
わされました。

99年に臨界事故が起きたときから、
「もしも、不測の事故が起きたら・・・」
とJCF講座で取り組んできた放射線
の基礎知識に、震災と原発という新し
い視点が加わりました。

まず、基礎知識を得ること、日常的
な備えを個々に行う大切さを学びまし
た。

何よりも、私たちは地球の核、マグ
マの上に暮らしているんだと納得した
次第です。

2 「チェルノブイリの祈り」



ベラルーシでチェルノブイリ事故
の除染作業に関わった消防士や汚染
地に暮らす人々から聞き取りをし記
録した「チェルノブイリの祈り」（岩
波書店）の著者スベトラナ・アレク
シエービッチさんが来日されます。国
内のチェルノブイリ支援団体が連携し
合って、全国で講演会を計画していま
す。JCFは「チェルノブイリの祈り」
を講談で演じている神田香織さんとの
ジョイントを企画しています。

今年度もスタディ・ツアー、そして
広報誌「ランド・ゼロ」の発行など
継続事業も進めていきます。

特に、別誌面でお知らせしています
「マリアちゃんががんばれキャンペーン」
は日本から持っていったさい帯血の移
植日も決まり、両国にとって新たな医
療協力のステップとなります。みなさ
んのご協力をよろしくお願いいたしま
す。





ベラルーシ共和国への新生児医療支援 現地を訪問して確認した二つの問題点

信州大学小児科 松澤 重行

2002年春に新生児に対する医療支援をスタートして1年がたちました。

当初は低出生体重児の救命率の悪さを聞き、小さく生まれる子どもたちの救命率をあげることを目標にしました。その後、神経後遺症を持つ子どもが増えていることを聞き、救命率をあげるだけでなく、後遺症を残さないような医療協力が求められているのではないかと思うようになりました（このことについてはグラントゼロ55号に書きました）。今年2月の訪問の目的はこの国の神経障害を持つ子どもの現状を知り今後の支援のあり方を具体的に考えることでした。

どのくらいの問題があるのか客観的な統計データを知りたい、神経発達障害を担当する医療者に話を聞きたい、という漠然とした私のお願いに、JCF事務局のみなさんはてきぱきと対応し完璧な計画を立ててくれました。

ベラルーシは何年ぶりかの大雪が連日降り続き、国内移動に予想外の時間をとられたために強行軍となりましたが、有意義なたくさんの方の情報を集めることができました。

◆新生児医療の現状データ

得られた統計データの中から新生児医療の現状を示していると思われるデータを2つ報告します。表1はゴメリ州の出生率、周産期から乳児期の死亡率を日本と比較したものです。出生率は日本と同じですが、死亡率は（近年改善傾向があるものの）日本の数倍です。

表2はこどもの脳性麻痺発症率をまとめたものです。日本では最近15年ほど横ばいですが、ベラルーシでは近年増加し続けています。

出生率の低下については、この国の経済的な問題を反映しているほかに、原発事故当時の子どもたちが適齢期を

2月5日

・ ミンスク国立小児神経センター（ミンスク市）
・ ベラルーシ共和国の小児神経疾患の統計調査

2月7日

・ ゴメリ州保健局

・ 周産期の統計調査

・ ゴメリ州立病院産科

・ 周産期体制についての意見交換

・ 胎盤研究への協力依頼

・ ゴメリ医科大学

・ 研究協力の依頼

・ ゴメリ州立病院神経科
・ ゴメリ州の新生児未熟児の神経後遺症の調査

2月8日
・ 新生児フォローアップ体制の把握

・ ゴメリ子ども病院神経科
・ ゴメリ州の新生児未熟児の神経後遺症の調査

・ 新生児フォローアップ体制の把握

*表1 日本とベラルーシの出生率、新生児死亡率の比較（2002年）

（単位）	出生率 （人口千対）	新生児死亡率 （出生千対）	乳児死亡率 （出生千対）
日本	9.3	1.6	3.1
ゴメリ州	9.3	4.0	8.4

新生児死亡率：出生後4週間以内の死亡数

乳幼児死亡率：出生後1年以内の死亡数

新生児、乳幼児ともに出生1000人に対する割合で示している。



の問題点を考えました。1つは診療上の問題です。

◆診療上の問題点

精子と卵子が受精して生命が誕生し、その後胎児は約40週をおかあさんのおなかの中で過ごします。この胎児期（妊娠期間）を大きく3つに分けると、最初の1／3はからだの形ができ、最初の1／3は形のできた臓器が基本的な働きを持つ時期、最後の1／3は形や働きが発達していく時期にあたります。このため、予定よりもかなり早く生まれたあかちゃんは、ただからだが小さいだけでなく、多くの臓器の機能が未熟で弱いためにさまざまな問題を起こしやすく、また、一般的に後遺症を残す危険が高くなります。

したがって、あかちゃんの問題点を正しく診断し適切な医療を行うことはもちろん、異常な状態を、できるだけ早く、できるだけ問題が軽いうちにみ

つけて対応することが大切です。この点において、心臓や呼吸のモニターが不足して使えないために、人工呼吸器やさまざまなくすりを使って治療するときに起こってくる変化を見逃し、後遺症を残してしまっている可能性があります。また、出産前の胎児にも問題は起こりえますが、妊娠中の胎児のモニタリング（状態を把握すること）が日本に比べてかなりおろかであるために、胎児の状態が急変したときに発見が遅れて、出生後のあかちゃんの生命予後や神経発達に影響を及ぼしている場合があるのではないか、と思いました。

◆新生児期以降の医療体制

2つめの問題点は新生児期以降の医療体制に関することです。

この国では、こどもの神経や発達の病気を担当する病院が新生児期（出生後1か月）、乳児期（1か月～1



迎えて不安を感じているということも指摘されています。死亡率が高いのは、主に新生児を取り巻く医療環境が悪かったことによると考えられます。死亡率が近年改善傾向がみられることについても、新生児医療のレベルの向上による部分と、妊娠中に胎児の先天異常をみつける技術が向上し、異常を持つ胎児の妊娠中絶が増えたためとの説明もありました。

◆なぜ脳性麻痺が増えるのか？

ところで、なぜこの国に脳性麻痺のこどもが増えているのでしょうか。今回お話を伺った人たちは異口同音に、この原因は新生児医療とくに未熟児医療であると答えていました。しかし医療の何が問題なのか尋ねても「医療そのもの」という曖昧な返事しか返ってきませんでした。

私たちは今回の訪問も含めた現地での見学や収集した情報の中から、2つ

*表2 日本、ベラルーシの小児脳性麻痺患者数の推移

	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001
日本		201.9					211.5
ベラルーシ	215.6	216.3	226.8	239.7	239.1	249.9	248.9

単位：0～14歳のこども10万人あたりの患者数



歳)、幼児期(1歳以降)で分かれており、例えばゴメリ州では新生児期はゴメリ州立病院産科病院、乳児期はゴメリ子ども病院神経科、幼児期はゴメリ州立病院小児神経科がそれぞれ担当しています。新生児期に病気をもち治療を受けたあかちゃんも、その後には発達フォローを受ける病院もまた、年齢に応じてかわって行くこととなります。それまでかかっていた病院から新しく受診する病院には紹介状によつてこどもの医療情報が伝えられます。ところがこの国の医療情報提供は一方通行で、その後の経過などの情報を元の病院にフィードバックする(経過を報告する)習慣が全くありません(振り返って考えてみれば、日本の医療情報提供のしくみも十分とは言えないかもしれません)。

胎児あるいは新生児の時期に問題があつて後遺症が残る、発達に支障をきたす、という場合、それらの問題がす

ぐに現れてくるわけではありません。1歳になつても坐れない、3歳になつても話せない、というように、それぞれの年齢に応じた発達がみられるかどうかを確認していく中で、はじめて問題が明らかになってくることの方が多いのです。

お話ししたような一方通行の情報伝達のしくみでは、新生児期を担当する医師には、自分が治療したこどもがどのように成長しているのかを長期的な視点で判断し、自分たちが行っている医療を客観的に振り返る機会がありません。このことは、後遺症を残さないような質の良い医療を目指すためには不都合であると感じました。

神経発達の問題を持つこどもに対して、リハビリテーションを行える病院が絶対的に不足しており、福祉施設はほとんどありません。重症脳性麻痺のこどもたちの約8割は病院や施設を受

診せず自宅で隠れるように生活し、早逝していく、という現状は、30年前と比べて進歩がないとのことでした。また、異常があるこどもに対して親が育児を拒否したり、こどもを置いて逃げてしまふ、といった問題もあり、親がないために本当は必要な治療を受けられず、ただ病院に預けられているというようなこどもにも会いました。

◆今年のささやかな一歩を

このような現状を見聞きし、神経障害を残さないことを主眼においた支援が大切との思いをより強くしました。今回お話しした2つの問題点をもとに、JCFのみなさんやMEのみなさん、現地のスタッフと相談しながら支援を進めて行きたいと思えます。

事故の恐怖が風化するとともに多くの支援が打ち切られました(新生児医療はもととあまり支援対象になつていなかったようですが)。しかし多く

の問題は解決されておらず、ベラルーシを訪れて現地の医療者と話をするたびに、自分なりの立場で協力を継続していくことの大切さを感じます。現地での活動は移動を含めて約1週間という限られた時間のなかで、毎回力不足を感じますが、多くの方々のご理解ご協力があつて支援活動に関われることに感謝しております。この場をお借りしてお礼申し上げます。そしてこれからもよろしく願ひいたします。



さい 臍帯血輸送完了

マリアちゃんの移植日決定！



ウィーン空港で警官のチェックを受けた

5月10日、第68次訪問団で、小型コンテナで冷凍したさい帯血を西宮にある「兵庫さい帯血バンク」からミンスクのセンターまで運んだ。成田空港は何の問題もなくパス。問題はウィーン空港だった。オーストリア航空の日本人スタッフがX線検査免除のために付き添ってくれた。しかし、警官が来たり、何だかわからないマーカーチェックがあつて、手間取った。2日前に爆弾騒ぎがあつたばかりだという。小型コンテナは小さなプロパンガス容器のような形、内側に液体窒素が充填され、保冷されている。68次に同行された信州大学の倉科先生が早めに慎重な対応をしてくださった。12日、ミンスクで

検査表から、かなり近いドナーのさい帯血が「兵庫さい帯血バンク」にあることがわかった。現地の主治医に報告すると移植の経験はある。さい帯血移植の治療をしよう、という事になった。

病室で、マリアちゃんに会った。お母さんはシングルでマリアちゃんを育てており、おばあちゃんが付き添っていた。「この子の母は、病気は治ら

2002年11月、第64次訪問団でベラルーシ国立小児血液がんセンターを訪問した。オリガ・アレイニコワ院長は、挨拶もそこそこに私を院長室に招き入れた。

「マリア・クリシタボービッチ。5才。貧血がひどく、移植をしなければ助からない。ドイツの骨髓バンクに問い合わせたら、日本人に20名HLAが適合するドナーがいることがわかった。何とかしてもらえないか」とすごい勢いで訴えてきた。センターとは2002年3月から、衛星通信で子ども達の白血病、ホジキン症、再生不良性貧血などの治療について、信州大学小児科の医師と医療協力をしている。早速、日本にコンタクトして様態を相談していただいた。

ないだろうとあきらめています。日本のお医者さん、助けてください」おばあちゃんは可愛い孫がなんとか元気になってほしい、と祈っていた。

JCFはこれまで一人特定の子どものための支援はしてこなかった。末梢血幹細胞移植は一人一人に行うが、治療知識と技術を現地医師が習得していくことが、将来的にも白血病治療全体の底上げにつながっている。「ファンコニ貧血」といってこのままほっておけば、白血病になったり、他のがんを誘発しやすいこの病気の治療をJCFが応援するべきか、事務局で検討した。一人の特別な子どものためにーではあるが、マリアちゃんのHLAは日本人に適合者がいる。できれば応援したい、助けてあげたいと合意した。

日本では、骨髓バンクへの問い合わせが始まった。マリアちゃんのHLA

少し遅くセンターについた私たちを、オリガ先生、ナターリヤ先生が、マイナス140度の冷凍庫を冷やし準備してしてくれた。コンテナから冷凍庫に移し、ほっと安心。

13日、主治医のユーリー先生と採血、口内の粘膜採取などの打ち合わせをする。この日、再び治療に入るために再入院したばかりのマリアちゃんとおばあちゃんにあった。かわいいジーンズのスカートで、「こんにちわ！」と声をかけると、おばあちゃんの後ろに隠れようとする。「この子は、はずかしがりやなんですよ」とおばあちゃんはマリアに挨拶をうながす。

日本のたくさんの方々がマリアちゃんがよくなるように応援しています。今度さい帯血も運んできました。できる限りのバックアップをします、と伝えた。



再入院したマリアちゃんと祖母タチャーナさん

ていた。

翌週月曜日、火曜日センターに電話するが誰も出ない。副院長のケイタイも切られたままだ。水曜日ようやく繋がった。まず、マリアちゃんの状態を聞いた。ユーリー先生はすでにカテーテル挿入が終わった、と言い、血液検査の結果など伝えてくれた。信大の先生に報告する。すると、カテーテルが挿入されたのは放射線治療の準備が始まったということだと言われる。大至急、日本から薬品を持って飛ぼうと急転直下の事態となった。

1時間半後、1日で招待状を発行、エアチケット予約、現地連絡などなどが整った。翌朝から、薬品の選定、試薬の選定に医学部中央検査室の勝山先生にもお世話になった。

午後には、ベラルーシ人道支援局から招待状も届いたと大使館から連絡が入った。JCFの神業だった…。

6時から、衛星通信が始まった。ユー



オリガ先生にさい帯血を渡した

16日、マリアちゃんの血液を日本で検査するために、少し採血させてもらった。お母さんが、仕事を休んで、病院に来ていた。日本からの応援を伝えた。しかし、主治医から難しい治療であることを、おばあちゃんもお母さんもすでに聞いていた。若く美しいお母さんだ。とても不安だという。必要な薬品などできる限りのサポートを約束し、ミンスクを後にした。

日本に帰って、21日の衛星通信で、マリアちゃんの治療プロトコールについて話し合った。オリガセンター長はなかなかの強者である。自分達のやり方に絶対的な自信を持っていて、日本からのアドバイスに耳をかそうとはない。信州大学医学部小児科の先生が日本で行った3つ症例を提示して、放射線治療を慎重にやっていたきたい、免疫不全を防ぐにも日本ではこのよう

な有効な医薬品があることを説明した。

た。2時間弱でようやく双方が納得できる治療プログラムができた。

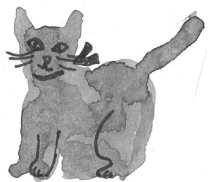
そして、この時、マリアの移植は5月30日に行う、と言われた。日本の移植治療に使っている薬を使って、リスクをできるだけ少なくしようと話し合ったばかりだ。薬品の発注のみならず、日本からサポートに向かう医師のビザも間に合わない。今、相談し合ったことは何だったんだ！そして、30日にやる理由が、6・7・8月が夏休み期間で医師たちが交代で休みを取るの

で、機器が動かなくなってしまうからということだった。憤慨、決別しては何にもならない。6月6日、13日を提示した。譲歩の結果が6日が「day 0」(移植日)となった。翌日から、招待状や航空券の手配が始まったが、どうも急いでは落ち着かない。夏休みが明けて、余裕をもってマリアちゃんの治療にあたっていたきたい。次の通信でそう提案しようと日本側では相談し

リー先生と話し始める。「マリアの移植日は10月にしよう」と言う。「9月末から放射線治療の準備にかかり、10月に移植する。これは科の責任者の私の判断だ」という。昨夜来の緊急手配がぶつ飛んだ。でもマリアちゃんのためには、移植後も医師が夏休みに入らない10月がベストだ。次の日はあちこちに「ごめんなさい」のキャンセル日だった。

10月2日 移植の「Day 0」の日に向けて、気持ち新たに準備が始まっている。

(事務局・神谷)



つかめぬ放射線医学人間環境センターの実態

今後の活動とのリンクは可能か？

新型コロナウイルスの罹患者数と死亡者数が連日更新され、中国・台湾・韓国から欧米にとんでいる。ニュースを聞きながら私たちは、明らかに、ボーダレスの中で暮らしていることを実感させられる。世界中には、治療法もない病気がいっぱいあるに違いない。

グラント・ゼロをめぐる災禍も全く同じだ。チェルノブイリ原発事故の放射性物質による低線量被曝の問題に息長く取り組みつつある中、アフガン・イラクでの劣化ウラン被害が重くのしかかってくる。

人間はなんと愚行を繰り返すことだろう。愚行と横暴にさまざまな見方が錯綜する。

しかし、どんなに難しい国際政治の中にあっても、守りたいものがある。と、きっぱり宣言したいのだが、ベラルーシはいつも難しい。

昨年、ゴメリ市郊外にチェルノブイリ事故後遺症の調査・研究・診断・治療を一極化するセンターがオープンした。外来センターは昨年から移動検診車で汚染地の子どもの健康診断を行っている。昨年11月の健康診断では、肩すかしにあってしまった。そのセンターとは、いかなるモノぞ、とばかりに第68次訪問団が5月10日から18日、ベラルーシを訪問した。

ゴメリの中心地から車で20分。赤松

林の中に入りつばな建物はあった。ロシア・ウクライナ・ベラルーシのチェルノブイリ事故の災禍で苦しむ人々のために造られたという。勿論、ベラルーシ全土をカバーして、内分泌・血液・内科の総合センターをめざしている。ルカシェンコ大統領の肝いりなので、予算は直接保健省からおりるそう。放射線との影響結果の調査研究を主体に、健診と治療病院施設をたつぷりとっている。

名称は「放射線医学人間環境センター」、放射線の影響をすべてに網羅したネーミングではないか。

建物は立派に完成したが、人材と施設内部の機器などについては、本当に順調に稼働するのだろうか、と疑問。内分泌の権威ミンスク第一病院のユーリー・ジェミチックは、移るつもりは全くないと言っていた。JCFが協働しているゴメリ州立病院の医師達も、センターで白血病の治療はできるはず

がないと声を荒げていた。小児血液病棟の医師と医療機器だけが移っても、麻酔医、小児外科医、臨床検査医も共に移らなければ、移植治療はできない。センター長は臨床を解っていないというのだ。

初めて会った私たちは、さりげなく、検査はどうですか？血液成分活性検査の機器はありますか？と矛を向けた。「なんの問題もない。スタッフも機器も揃う。州立病院の医師達が希望すれば、そのままここで仕事を続けられる」とセンター長は、なかなか政治家であれば、失職する、年金生活になっしまう、と不安がついていた州立病院の医師たちの思いなど、どこ吹く風である。汚染地の子どもの達一般健康診断は継続されるのですか？

「医療資材も十分ある。スタッフも足りている。ただ、チェルノブイリ地区病院には小児科医師がたりない」

日本から、医療従事者が健診に参加するメリットはありますか？

「以前内分泌外来センターに来ていた女性医師には、赤ちゃんが産まれた。日本に研修に行った医師も日本人医師と結婚した。協力の成果だ」

???

話題がかみ合わずに、核心に至らない。

JCFの3年間のポレーシェ学校での児童健康診断も今年は見送ることになりそう。センターのこれからの動きも今の段階では、捉えきれない。せめて、これまでのまとめのためにも、このセンターが行う健診に同行させていた。だき、日本からの支援無くして定期的に行われて行くことを確認し、診断方法にも問題がないか、見させていだきたいと思っている。

かつて、ベラルーシの医療者が「私ただけでは、どうしていいかわかりませんでした」と言われた時代は、確

実に去ったのだろう。

国家のプロジェクトで進むセンターに弱小NGOが関わるかどうか。本年度は見守る必要がある。

私たちは、このセンターを「エコセンター」と呼ぶことにした。

帰路同行された信州大学の倉科先生が言われた。「CNNで言ってたよ。SARSより、世界では解っていない感染症が蔓延しているそうだよ」と。なんだか深い言葉であった。

(事務局・神谷)



あなたは今日、
この瞬間から何を見つめ、
行動しますか？

アレクセイは手足に軽い障害があります。村人は障害のあるアレクセイではなく一人の人間として付き合い、力強い若者であるという自然な支え合いの中で頼られている姿がとても共感ができ嬉しく思いました。

村人とアレクセイの関係こそが私の理想です。

どんなに文化が発展しようと、土、山、動物そして泉があることで人間は生かされていると思います。この映画のようにすべてが一体となり生きていくことができる社会になれば、という願いがあります。

人と人、人と自然が生きていることの大切さをもう一度見つめ直してみませんか。

いづみ代表 橋本 和子

第3回 だから…りんごをつくります

町田 登さん

低農薬にこだわりのりんごを作るといってお話でした。りんごにも歴史があり、一つの

第2回 家族って何ですか？

鳥羽 福枝さん

障害のある家族と共に暮らす方のお話でした。家族がどうい制度を使っているのか、に生きられるのか、ということに迫力を上げ、制度を作るために周囲の人たちに問いかけていました。しかし今回の講座の中で、普段聞くことができない家族への愛情の大切な部分を知ることができました。

◆生きることの学びあい講座◆

第1回 中国で生きる

中山 隆之さん

中国での戦争体験談でした。15歳で戦場に繰り出され、「戦うよりか逃げるしかなかった」というのが現実だということで、まさに、生を目の当たりにした瞬間のお話でした。戦地で奥さんと出会い、子供と共に日本に戻ることができた喜びを語ってくださいました。

生きることの 学びあい講座を 開きました！



カット画：山下博司

本橋成一監督のドキュメンタリー映画「ナージャの村」に続く第2弾として「アレクセイと泉」が今、各地で上映会が開かれています。この映画の試写会が2001年春、中劇（松本市）にて行われました。前回の映画同様にチエルノブイリ原発事故により被災したベラルーシ共和国の小さな村が舞台です。住み慣れた村で生き続けたいという想いから55人の老人と青年であるアレクセイが「泉」を囲んで生きている姿が淡々と描かれています。ゆったりと流れる時間の中で自然、故郷、家族、命、障害、生きることの尊さが本橋監督ならではの手法で温かく表現されています。

私が一番驚かされたことは、百年も前からわき出ている泉だけが汚染されることなく生き続けていることです。人間の行き過ぎた科学よりも、自然の偉大な力には及ばない、ということを見せつけられました。そし



て「運命から自分からどこにも逃げられない」、「泉の水が僕の中に流れ、僕を引き留めている」というアレクセイの言葉が、私自身の考えと一致するところがあり、身震いするほどドキッとさせられました。障害者として生きること、いま暮らしている場所ですること、私にとってもすべてが運命だと思っていたからです。

マリアちゃん支援・佐久上映会

6月になり、山々はやわらかな緑に包まれ旺盛な生命活動が始まりました。

「アレクセイと泉」の自主上映会の実行委員会も6回目になり、確実にその輪の広がりを感じます。

私にとって「チェルノブイリ」はすでに風化していて、もちろんJCFという団体のことも「ナージャの村」「アレクセイと泉」の映画のことも不覚にも知りませんでした。

昨年10月に佐久勤労者福祉センターで行われた「本橋成一監督が語る『アレクセイと泉』」のスライドトークに参加して、いまだにその被害に苦しむ村があり子供達がいることに驚きと同時に自分の無知を恥じた次第です。

私たちは普段、「ニコニコ」と言う地域通貨をやったり、講演会を企画したりと楽しい仲間です。以前「ガイアシンフォニー」の自主上映の経験があり、その大変さはよくわかっていましたが、監督のトットと話す「アレクセイと泉」の撮影風景や、その村のお年寄りの力強さ、あきらめない生き方に共感して、監督の話が終わる頃には周りの仲間と「上映会をやりましょう」ということになっていた。そこへ神谷さんがにこにこしてやって来て「一緒にやりましょう」という風に上映会が動き出しました。



手作りの素晴らしい看板

自主上映会はポスター、チラシ、チケットのお願いなど積極的に動かなければいけない反面、新しい友達が出来、みんなで1つの事をやり遂げる充実感に感動できるなど、得るものも多いと思います。

そして今回、骨髄移植（さい帯血移植に変更）を待っているマリアちゃんのことを知りその支援をかねて「マリアちゃん支援チャリティ上映会」という主旨で「チェルノブイリを風化させない」「自給自足に根ざした生き方」なども訴えていきたいと思います。

実行委員長 朝日奈俊雄



りんごができるまでにたくさんさんの病害虫が発生することを語られました。人生にこだわりを持って生きている方です。彼の周りにいる人達は、自分の気づかないところでみんながそれに共鳴されているという広い世界を感じられました。

3人とも生きて行くうえで立場が違います。しかし、自分の足で大地を踏みしめ生きる道を貫いています。それぞれが、目の前にある人生を自分なりに受け止め、大切にしています。そして、こだわりと厳しさをもって人生をどう完結するかを考えています。

それぞれの生き方はアレクセイと重なるのかもしれませんが。

「運命から、自分からどこへも逃げられない。」

アレクセイはそう語りました。彼もまた、目の前の人生を自分なりに受

け止め、他人に左右されることなく道を歩んでいるのでしょう。

連続講座と、上映会の準備を通じて私たち実行委員はそれぞれがさまざまなことを感じました。

この実行委員会ができ、講座を聞いたりアレクセイの映画をみることで、私は新しい世界を見ることになったと思う。身近な所でもいろいろな考えをもつ人がいてそれぞれ自分の生き方があることがとてもうらやましく、いつか自分も自分はどうだと思えるのか、疑問になった。アレクセイの映画で水を汲んで土を耕し生活する。幸せってなんだろう。よく私たちは物質的には豊かだけど精神的には……ってきくけどそのことを改めて考えさせられた。

信州大学農学部 原川 愛花



那珂町通信

ヨウ素って知ってる？

笹田 海
(ナージャの輪)



原発事故のときのために、自治体ではヨウ素剤を用意しているところもあると知り、ヨウ素剤とはどういうものなのか？ どこにあるのか？ 手に入れるにはどうするのか？ 事故のときにはどうやって、渡してくれるのか？ 学校の子供たちは、どうなっているのか？ 分からないことがばかりです。お母さんたちで知ることが出来たら…との思いで、去る3月15日、那珂町中央公民館におきまして、ヨウ素剤

の勉強会を開きました。呼びかけたのは生協を主体とするグループ「ティータム」です。勉強会には40名の方々が参加しました。

講師には、茨城県保健予防課の方や医師、放射能の専門家の方々に来ていただきました。講師の方々には、私たちの質問ではもの足りないし、説明するにも専門用語が通じませんから、大変だったと思います。ただ、お互い

勉強会を開いて、行政や

私達がヨウ素剤を手に入れるまでには、オフサイトセンターでの決定、そして行政がヨウ素剤を準備して、配るまで数時間かかるという。(ヨウ素剤を効果的に服用するには、事故直後

真剣な気持ちで時間が過ぎていきました。

ヨウ素剤は薬のため、副作用があるから医師や薬剤師の処方のもとに服用してほしい。甲状腺の病気の人・アレルギー・心臓病の人は、飲まないほうがいい。ヨウ素剤を飲めない心配をするより普段の食卓で、海藻を食べていたほうがよいという。ただ、事故が起きたときに大量に海藻を食べることはしないほしい。海藻には微量しか含まれていないからと、正されてしまいました。さらに、原子力施設の事故の場合には、よく見極めながら考えて行動しなくてはいいけないと、思いました。

が一番いいというのだが…) 私達が指定されている避難所(公民館や小学校など)へ行き、スタッフが一人一人に調査してくれるという。ヨウ素剤を手に入れるまで、何時間かかるのだろうか？ また、避難所に入れない場合には、どこで待つのだろうか？ 放射能が飛んできて感じないのだから、外で並ぶというわけにもいかないだろう。

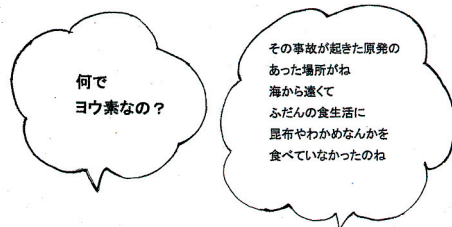
上げる方法をよく知っていなければいけない。お天気と風向きを考えて、放射能がいけないときに、無いところに逃げるのです。

ヨウ素剤の勉強会を開いて、行政や

NGOの方々の努力を知ることが出来ました。私達市民も機会があるときは、いろいろなところに参加して少しずつ知識を持たなければいけないと感じました。

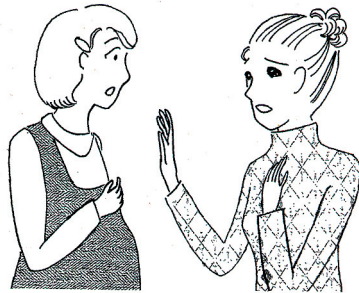
考えれば考えるほど、ここに住むのが嫌になる。もし、うまく手に入ったとしても、安心は出来ないのです。ヨウ素剤は、何十種類もある放射能のうちの一つにしか効果が無いのです。また、市販のヨウ素剤を使う場合は医師に相談してから飲むこと。ヨウ素剤の入っているうがい薬などは飲まないことが、注意として言われました。ただ、他の放射能にはなすすが無い。私達に残された方法は、逃げる。逃それが最善の策なのです。しかし、逃

チェルノブイリ事故では原発から280キロ離れた村も、放射線汚染で人が住めなくなりました。



何でヨウ素なの？

その事故が起きた原発のあった場所がね海から遠くてふだんの食生活に昆布やわかめなんかを食べていなかったのね



ヨウ素不足の体だったから事故の放射性ヨウ素のせいで何年かたって子供から大人までが甲状腺ガンにかかって手術しなければならなかった人がたくさんいたのよ

まだ今でも苦しんでいる人がいるんだってよ

「ヨウ素って知ってる？」(発行・ナージャの輪)より

まなざしのゆとり

宮尾 彰

No.12

美とは、それを観た者の発見である。創作である。

青山 二郎



写真提供 本橋成一

日本には、陶器にひびが入っていたり、一部が欠けてそこが直されていたり、あるいは窯の中で灰等の不純物が付着していたりしても、それらのすべてを「景色」と呼んでその器の見所を含み容れてしまうふくよかな審美眼がある。望むらくは「完品」と呼ばれるような無傷のままの器に越したことはない、と思うのが普通であろうに。かつては私もそう考えていた。ところが、歪んでいた、ひび割れていたりしても美しい器を見つめようとそうはいかなくなる。より正確に表現すれば、そうした器を見て『美しい』と感じる自分がいつの間にか創られてしまうと、もう元には戻れなくなるのだ。

こうした心の傾きがどこに根を持つのかを探って行くと、日本古来の茶道、あるいは禅の精神に突き当たる。室町時代、初期の茶人達は当時朝鮮の民家で常用されていた飯茶碗の中から幾つかを選び取り、それを茶の道具に見立てた。ごく平凡なありふれた雑器の内に、彼らはそれまで認められることのなかった価値を新たに見出し、付け加えたのだ。これこそ彼らによる「発見」であり「創作」であった。観るという対象への創造的な働きかけがあつて、そこに美しい

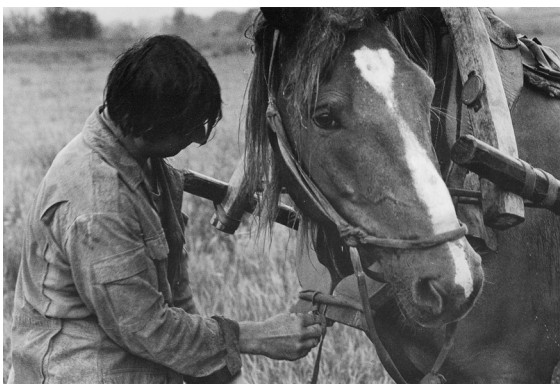
茶碗が生まれる。つまりは豊かな眼の祝福による存在の名誉回復である。

二月半ば、私は加賀の道具屋で形が楕円に歪んだうえに「お直し」の施された小振りの茶碗を見た。以来、その姿が眼に焼き付いて離れない。桃山時代に唐津で焼かれたその茶碗は、千利休が生きた時代の初心（うぶ）な眼の息吹を今に伝えている。永年おびた、だしい眼と手に愛でられて魂がこもっている。

十全に観ることが、相手の存在を豊かにする。この人間理解にも通ずるまなざしの奥義を初めて私に教えたのは、ロシアの思想家バフチンの文章だった。

まなざしのゆとり、それはつぼみです。そこに「あるべきすがた」がまどろみ、やがてそこから花のように成長して行くのです。けれども、このつぼみがほんとうに「あるべきすがた」の極まった花と成って咲き開くためには、わたしの持つまなざしのゆとりが、見守る相手の視野を包み込んでいなくてはなりません。それも、相手のかけがえのない人となりを損ねることのないように。わたしには相手の内に移り住む必要があります。これは、相手が眺めている世界を、相手の眼で内側から眺める行為に値します。こうして相手の立場に立つことを経て、わたしはあらためて自らの立場へと戻ります。そして、この相手の外にあるわたしの立場から可能になるまなざしのゆとりをもつて、相手の視野を包み込むのです。相手の存在を縁取るのです。相手のために、わたしの持つまなざしと、知識と、希望と、気持ちのゆとりとから成る「額縁」を創り上げるのです。

ミハイル・バフチン『作者と主人公』より抄訳



写真提供 本橋成一

ジーマの

ロシア話

◆患者が医者のもとに来ている。

「お医者さま、助けて下さい。もう一ヶ月間ゆっくり眠れないんです。ずっとサッカーをやっているラット達を夢に見ているんです」

「これが飲み薬です。飲んだら、すっかり治りますよ」

「これを飲むのは、明後日でいいですか？」

「いいですよ。でもなぜ？」

「実は、明日は決勝戦なんです。」

◆冷戦時代に、世界各国の代表者が旅行している船に神様が降臨した。まずはアメリカ人に近づいた。



「あなたの願いを一つだけかなえよう」

「あの悪の帝国であるソ連を撲滅してくれ。そうしたら、世界の人々が安心して暮らせるようになる」

神様は眉をひそめて、次はソ連の代表者に近づく。

「あなたの願いをたった一つかなえることができる」

「あの悪魔の国であるアメリカを壊滅したら。世界中の人々が皆ほっとする」

神様は更に落ち込んで、最後のユダヤ人に近づく。

「あなたの願いは？」

「あの2人の夢を実現している間、私にコーヒーを一杯持ってきてくれないか。」

——ストレリツォフ・ドミートリさんよりのアネクドート——



АНЕКДОТ



Приходит больной к врачу:

- Доктор, помогите, уже месяц не сплю спокойно. Мне постоянно снятся крысы, которые играют в футбол.
- Вот вам микстура, выпейте, у вас все пройдет.
- А можно я выпью ее послезавтра?
- Да, но почему?
- А у них завтра финал!

Во время холодной войны на судно, где путешествуют представители разных национальностей, спустился Бог. Первым он подошел к американцу.

- Исполню одно твое желание.
 - Уничтожь, господи, Советский Союз, эту империю зла. Тогда всем людям на Земле станет жить спокойно.
- Бог нахмурился. Следующим он подошел к советскому представителю.
- Могу исполнить единственное твое желание.
 - Испепели, господи, Америку, этот сатанинский край. Тогда всем люди почувствуют облегчение.

Бог нахмурился еще сильнее. Наконец он подошел к еврею.

- А твое какое желание?
- Пока ты, господи, будешь выполнять предыдущие две просьбы, принеси-ка мне чашечку кофе!

ベラルーシの食卓

船乗りの日

ベラルーシは東にロシア連邦、南はウクライナ、西はポーランド、北にリトアニア、ラトビアに囲まれた内陸の国。まったく海のない国にも“船乗りの日”がありました。やはり、“海と川の船舶労働者の日”です。大河ドニエプルを木材をいっぱい積んだ船舶が航行するのは、雪解けで増水した春の風物詩です。海はなくても船乗りは活躍しています。昔は上流で採れた蜂蜜や麻を積んで下流の都市に運ぶ船がドニエプルを盛んに行き来していたそうです。“船乗りの日”なんて、つかの間の夏の日にぴったりですね。

そして、山もないベラルーシですから、空は広く、夏の夜、川辺で焚き火をしながら、ふと見上げれば、両手を広げて抱きしめようにもかなわない、たくさんの星がきらめいています。澄んだ大気に星たちはチャーミングに瞬きをするかのようです。

“船乗りの日”それは7月7日。

降るような星空の下で、シャシリックパーティを！

＜焼き豚＞

1. 豚肉を準備し、(後ろ足もも) 子牛同様に焼きます。
2. 豚肉を軽く焼くためには、上にラードをのせます。
3. 付け合せに、フライポテトかゆでたポテト、ポテトピューレか蒸し煮たキャベツをつけます。
4. 豚肉を一口大に切り、焼いたときに出了汁を漉してかけます。
水煮リンゴ、紫キャベツ、キュウリを別に付けます。
分量はおまかせです。

“全世界タバコ喫煙者の日”なんてのもあります。5月31日。

モスクワ便り

今日は前に約束したオリビエーというサラダの話をしてしまおう。オリビエーはフランス人の名前なので、サラダもフランス料理であると思いましたが、外国にそれはロシア・サラダとして知られていると、学生のころポーランド人の友達から聞きました。実際にはこのサラダは歴史を持っています。19世紀の60年代にオリビエーというフランス人はモスクワにフランス料理を経営しました。(この建物は昔のままの姿で残っていますが、今は劇場です) 彼が作り出したサラダはお客の主な誘惑物になりました。その作り方はあくまで秘密にされていました。オリビエーさんが死亡した後、サラダは忘れられました。

でも1904年にはあのレストランのなじみの客の記憶によってサラダの作り方は復元されました。

今は、ロシアにオリビエー・サラダがとても人気で、だれでもそれを作れます。しかし作り方はずいぶん違います。「新しいオリビエー・サラダ」は、あまり食料を手に入れられないソビエト時代である20世紀の60年代にできました。

2つの作り方を比べてみてください。

「古い」オリビエー・サラダ

- ・2羽のえぞらい鳥の肉(煮る)
- ・牛舌--1本(煮る)
- ・キャビア--100グラム
- ・サラダ--200グラム
- ・25個の川カニの肉(煮る)
- ・小さなピクルス--2分の1缶
- ・大豆--2分の1缶
- ・きゅうり--2本
- ・カベルス--100グラム(またはこの野菜の花芽の酢漬け)
- ・茹で卵--5個
- ・ソース--フランスの酢、生卵2個、フランスのオリーブ油400グラム

「新しい」オリビエー・サラダ

- ・鶏肉あるいはソーセージ--200グラム(煮る)
- ・じゃがいも--3個(茹でる)
- ・ピクルス--2個
- ・人参--1~2本(茹でる)
- ・たまねぎ--1個(生)
- ・グリーン・ピース--適量に
- ・ソース--マヨネーズ



いかがでしょうか。違いますね。時代も違いましたから。

イリーナ・ニコラエバ(JCFモスクワ事務局)

振替用紙のメッセージから



◎いつも冊子を送って下さりありがとうございます。
(北海道)

◎神谷さんが言われている、現地と対等な立場で支援を続けておられる皆様に、私もチョッピリ仲間に入れて頂き多くを学ばせて頂きます。(北海道)

◎新しい命に太陽が輝きますように。

(福岡県)
◎資料・機関誌、ありがとうございます。最近、『自分には、何ができるだろうか?』と考えることが多くなりました。まずは第一歩として少額ですがお送りさせていただきます。

(福井県)
◎世界の平和が今危ぶまれています。戦争が始まると、いつも悲しみは子どもや高齢者の上に来ます。唯一の被爆国として声を大にして戦争に反対します。

(奈良県)
◎JCFの皆様、お疲れのなきよう頑張ってください。(東京都)

◎私も再生不良性貧血の患者(75才)

です。マリアちゃんの御成功を祈念します。(東京都)

◎マリアちゃんの移植の成功を祈ります。賛助会員で申し訳ありません。

(東京都)
◎マリアちゃん早く良くなって下さい。(東京都)

◎1986・4・26を忘れないために！少額で恐縮です。(東京都)

◎わずかですがお役立て下さい。

(東京都)
◎スタディツアーに参加したいと考えてます。(もつと色々、知りたい。そして自分は何ができるか考えたい)

(東京都)
◎大変おそくなりまして申し訳ございません。マリアちゃんの日も早い回復を心からお祈り申し上げております。

(東京都)
◎マリアちゃんがんばって下さい。

(東京都)
◎少しですがお役立ていただければと

思います。79歳のババ。(東京都)

◎5月2日の新聞でベラルーシのマリアちゃんが病気で苦しんでいるとの記事を読みました、私は元教諭ですが、1986年4月26日ウクライナ共和国チエルノブイリ原発の破壊的な事故を、よく覚えております。当時授業でも取り上げました。その時に救助にあたった方々や地元の皆さん、そして二次被曝で今でも多くの人々や子どもが苦しんでいるという現実は悲しいことです。皆様の運動に共鳴しております。話は別ですが、私の教え子も白血病になり、幸い移植に成功し、現在社会復帰に向けて闘病完治をめざしております。マリアちゃんの病気が完治して、ご本人とご家族が幸せになることを祈っております。病氣平癒を心より祈ります。

(東京都)
◎読売新聞を拝見しました。少ないのですが、寄附します。(東京都)

◎皆様のご検討を祈ります。(東京都)

◎活動を続けることは、たいへんでしょうが、どうぞ子どもたちの夢をかなえてあげて下さい。わずかで申し訳ありませんが、かげながらサポートさせて頂きます。(東京都)

◎原発事故がこんなにも多くの人々をこんなにも長く苦しめている現実。それでも生まれてきてくれる赤ちゃんに「ありがとう」。(長野県)

◎遅くなつてすみません。ほんの少しですが。(長野県)
◎使い道はお任せします。子どもたちのためにわずかですが役立てれば幸いです。(長野県)

(長野県)
◎グランドゼロを送って頂きます。少しですが役立てて下さい。

(長野県)
◎気持ちばかりですが、少しでもお役にたてればと思っています。(長野県)
◎先日は語る会に参加させていただきました。ありがとうございます。また事務所に遊びに行きます。(長野県)

◎一人でも多くの子どもたちが健やかに成長していきますように。(長野県)
◎少額ですが新しい命のために役立てて下さい。(長野県)

◎マリアちゃんが日本の支援で元気になる様祈っています。(長野県)

◎ご苦労さまです。一年早いですネ…(長野県)

◎がんばって下さい。love and peace(長野県)

◎この間は美味しい食事をごちそうになり、本当にありがとうございました。夏にベラルーシに行けるよう、貯金をしていきたいです。これからもお手伝いさせて下さい。(長野県)

◎マリアちゃんへの臍帯血が見つかったことを新聞で知りました。少ない金額で申し訳ありません。(長野県)

◎喫茶店をやっています。お客様からの寄付もこの中に入っています。イラク戦争が一日も早く終わるのを祈ります。(長野県)

◎ほんのわずかですが、年の初めのお年玉として募金します。よろしくお願ひします。(長野県)

◎劣化ウランを浴びたイラクの子どもの映像をテレビで見ました。白血病の子どもも多いと聞きました。ベラルーシの子ども達とダブって見えました。戦争なんかして、生命を粗末にして何がおもしろいのだろう。多くの子どもたちに安らぎを。(長野県)

◎愛と平和こそ！無力感と向き合いながら諦めずに…。(長野県)

◎昨年は払い込み用紙を間違えたので、事務所へは届かなかったようですね。男の曾孫が生まれました。早速9条を守る会に入りました。(長野県)

◎ご無沙汰しております。皆様お変わりないでしょうか？私は現在伊那で働いています。僅かではありますが、お役に立てて頂ければ幸いです。また人手が必要な事などありましたら、是非声をかけて下さいね。それではまた…。(長野県)

(長野県)
◎10の夢、かなえたいですね!!(長野県)

◎気持ちばかりですがこどもたちのことを思つてズーッと続けたいと思います。ご活躍を祈ります。(大阪府)

◎人間は皆んなお母さんから生まれて、そして死んでゆくのに、戦争という残酷なことが起きるのでしょうか。アラブの人とアジアの人も人間やで。(大阪府)

◎京都の鈴木さんにはいつもお世話になり感謝しています。大阪で鎌田さんのお話をお聴きできてよかったです。(大阪府)

◎いつも少額で申し訳ありません。(大阪府)

◎少額ですが、お役立て下さい。(千葉県)

◎元気になつて学校へ入学できると良いですね。(千葉県)

◎大変嬉しいことがありました。この

喜びを分け合いたくて気持ちばかり送らせていただきます。(千葉県)

◎ほんの気持ちを息子と2人で送らせていただきます。新聞で読みました。ご成功を祈っております。(千葉県)

◎チエルノブイリ・メモリアルデーのお葉書有り難うございました。マリアちゃんのこと、本当に心が痛みます。少額ですみません。(千葉県)

◎甥が同じ病気で投薬治療中ですが、なかなか完治するのは難しいようですね。子供達も小遣いの中から寄附してくれました。頑張りましょう！元気になつてください。(千葉県)

◎移植後報告書のご送付いただければ幸いです。(千葉県)

◎少しですがマリアちゃん基金に。(千葉県)

◎「アレクセイと泉」を地域の人の紹介で見たこと、その結果寄付ができたことを幸せに思います。(千葉県)

◎中心点不明病にならない様にしたい

ものです。

（石川県）

◎どんないのちも大切です。少しでも送ります。（石川県）

◎名前は出さないでね！（静岡県）

◎マリアちゃんが一日も早く元気になることを祈り、ささやかな協力をさせていただきます。（神奈川県）

◎わすかですがお役に立てれば…。事故から年月がたつほど、問題が深刻化するのです。（神奈川県）

◎少なくて申し訳ありません。がんばって下さい。マリアちゃんにもがんばってとお伝え下さい。（神奈川県）

◎マリアちゃんの骨髄移植が一日も早く実現し、笑顔の毎日となりますように。（神奈川県）

◎マリアちゃん早く良くなるといいね。（神奈川県）

◎マリアちゃん、神様とお医者さんを信じて、治療を受ければ必ず治ります、貴女が耐えることのできる子どもだから、この試練を与え給ったと思つてく

ださい。治って学校にゆけるのを祈ってます。（私は再生不良性貧血（重症）を6年患っています。）（神奈川県）

◎日本は不況とはいいながら、経済的にはまだ幸せな状態にあります。皆があたりまえにご飯を食べられますように。（神奈川県）

◎昨年はクリスマスカードが届かなくてちよつと寂しかった。JCFだけにはこれからも応援して欲しいと思います。よろしくネ。（神奈川県）

◎少しでもお役に立てたら幸いです。（神奈川県）

◎子どもさん達の笑顔がいつも見られますように。（神奈川県）

◎小さな地方のお店も「がんばらないけどあきらめない」です。命…心…を大切に、世界が一日も早く争いのない世の中になるように祈願。（新潟県）

◎このちらし100部送られたし。（新潟県）

◎お母さんと赤ちゃんに笑顔が続きま

すように。

（新潟県）

◎はじめまして。当会は月一回上映会をしている鑑賞団体です。2003年1月18日（土）に第145回1月特別

例会「アレクセイと泉」の監督講演と上映会を行いました。会場カンパとパンフ売上金を日本チェルノブイリ連帯

基金様へカンパさせていただきます。お受け取り下さい。（遅くなつてごめんなさいです）（滋賀県）

◎皆さんごくろうさまです。気にはかけておりましたが、何かとおサイフの方が忙しくて昨年は欠にさせてもらいました。ごめんなさい。（三重県）

◎肅々とチェルノブイリとつながり続けるJCFの皆様には頭が下がります。私も年一度ですが、こうして送金できるためにも日々の思いを大切にし、細かに活動して行きます。（埼玉県）

◎会員になるためのパンフレットなどがありましたら送って下さい。よろしくお願ひします。（埼玉県）

◎5・11からの訪問頑張つて下さい。なかなかこのところわずかな支援しかできずに申し訳ありません。でもいつも忘れていません。（埼玉県）

◎我が家の赤ちゃん誕生を記念して！世界中の赤ちゃんが健やかでありますように。（埼玉県）

◎諏訪中央病院でがんの治療を受けている者です。鎌田先生のご本を読んでチェルノブイリの事を知りました。今の私にできるのは些細な寄付くらいですが…。（埼玉県）

◎今回もまた命永らえさせて頂きました。その幸せのおすそ分けを、少しですがお役に立つところにお用ひ下さい。（埼玉県）

◎ほんの少しですがお送りします。（群馬県）

◎冊子を拝読しました。カンパはどう選んでよいかわかりませんが、とにかく今回の気持だけを伝えたいと思つて。（京都府）

◎お役立て下さい。

（京都府）

◎できるだけ早く骨髄移植治療を受け、快復されることをお祈りしています。

（京都府）

◎いつも通信送って下さってありがとうございます。時々のカンパだけでごめんなさい。

（京都府）

◎わざわざですがお役立て下さい。

（京都府）

◎大変申し訳ないのですがドリーム8で終わらせていただきます。皆様のお役にたてなくてすみません、がんばって下さい。

（京都府）

◎映画「アレクセイと泉」の鑑賞会でチラシをもらい、少しですが支援させていただきます。

（京都府）

◎映画「アレクセイと泉」の鑑賞会でチラシをもらい、少しですが支援させていただきます。

（京都府）

◎マリアちゃんの移植手術が無事、成功しますように。わずかですが、役立てて下さい。

（宮城県）

◎どのコースに...というのが決められ

ませんでした。必要なところで使っていただければと希望します。

（宮城県）

◎戦争への道紡ぐ有事法案反対！少しですが役立てて下さい。

（岐阜県）

◎事務局の皆様、いつもお世話さまです。神奈川県から沖縄に転居しました。

これを機会に、今後、匿名で、ささやかですが応援させて頂きます。

（沖縄県）

◎少しでも子どもたちの豊かな育ちに手助けになればと思います。

（茨城県）

◎もうすぐ春ですね、寒いけどがんばって下さい。少しでも寄付します。

（愛知県）

◎少なくともすみません。私もがんばって又ベラルーシへ行けるようにします。

（愛知県）

◎皆さんを応援しています（愛知県）

（愛知県）

◎アメリカの友人からのカンパです。（私は依頼を受けて、振り込みます。）

（アメリカ・カリフォルニア州）

◎5月に訪問団があると知り、手編みのおくるみを現地の赤ちゃんに編みました。

（東京都）



編んでいたいたおくるみはゴメリ州立病院の産科に届けました。



フストレーチャ：出会い

Встреча



東海村の「菜の花会」！

JCFの事務局会で、アレクシエービッチさんが来松される10月15日には、アレクシエービッチさんと神田香織さんをお招きしてのジョイント公演を企画したいという意見ができました。

今年10月にベラルーシのジャーナリストのスペトラーナ・アレクシエービッチさんが来日します。彼女は、チェルノブイリ原発事故の消防除染作業に駆り出され被曝した消防士とその家族取材したノンフィクション「チェルノブイリの祈り」の著者です。日本滞在中には、各地のチェルノブイリ団体の主催で講演会が企画されています。広島原爆のヒバク者を主人公にした漫画「はだしのゲン」を演目に行っている女性講師神田香織さんは、この「チェルノブイリの祈り」を読んで感動し、アレクシエービッチさんの許しを得て、「チェルノブイリの祈り」をもとに講演の脚本を作り、昨年からは各地を講演しています。

ちょうど那珂町の「ナージャの輪」のメンバーから、東海村で神田さんの「チェルノブイリの祈り」の講演が開催されると知らされ、神田さんの舞台を見に行くことになりました。

この講演の企画実行委員会は東海村の「菜の花会」のメンバーが中心になっていて、菜の花会の方達は「ナージャの村」や「アレクセイと泉」の上映会でも活躍して、JCFにも寄付を通じて応援を下さっています。

JCOの事故の後、東海村が何となく殺伐として、人々の心が沈みがちなを感じ、有志が集まって村のそここに菜の花を植え、花を愛で、若葉を食し、菜種をとって美味しい菜種油を作ろうという集まりが菜の花会だそうです。東海村と菜の花会、なんだか不思議な取り合わせに興味をひかれ、その会長さんの橋本長雄さんが時間を作って下さるというので、神田さんの講演の前日、那珂町を訪れて橋本さん

チェルノブイリ 10 ドリームズ 8

日本からベラルーシへさい帯血を送ります。
マリアちゃんさい帯血移植をご支援ください。



マリアちゃんを応援するために、高橋恵子さんがマリアちゃんにプレゼントしてくれたイラスト

チェルノブイリ 10 ドリームズ 8

I コース マリアちゃん骨髄移植支援	
II コース 小児白血病支援	
郵便振替口座番号	00570-6-34568
加入者名	チェルノブイリ(10)ドリームズ8

JCF 会費郵便振替口座

J C F 会 員 会 費	賛助会費	5,000 円
	特別賛助会費	30,000 円
	事務局ガンバレ会費	10,000 円
	郵便振替口座番号	00560-5-43020
	加入者名	日本チェルノブイリ連帯基金



ふかふか暖かい「菜の花会」 ご自慢の堆肥

なつた落ち葉をこぼれないように幌をかけて固定する方法が分からず、見かねた知人が助っ人をかけてくれたとか…。

種まきの時も種を固めて播きすぎて、密集して芽が出て、農家の人に「菜の花の間引き、なんて聞いたことないよ」って笑われたり、いろんな武勇伝があるそうです。

「発芽後は雑草取りや間引きをして、年を越すのですが、その間何度も雑草をとって過ごします。この頃は青葉の少ない季節なので、間引き葉は大変美味いものです。3月になると青いつぼみが出て、成長が著しくなります。青いつぼみも食用となるので、成長点を止めないようにして摘み取ります。香り高く青々として歯ごたえが楽しみのひとつです。4月中旬には黄色が一気に広がり恒例の『菜の花を愛でる会』を行います。慣れない作業の労をふり返って、収穫のための前進を誓って杯

を挙げます。」

「今年は青森県の六ヶ所村の近所からいただいた種を一部に播いたんですが、寒い時期にはなかなか大きくならないので、この種はダメだったかな、と諦めかけていたんですよ。それが4月の気温の上昇と共にぐんぐん大きくなって花をつけ、今では他を追い越す勢いです。もともと菜種は強い植物なので、土地を限定することもなく日本各地に見られるのですが、北国育ちの強さに驚いています。もしかしたらこれは日本古来の種に近いものではないかと私は思っているんですよ」

「さて、菜種栽培で一番大変なのは種を収穫して鞘の殻とより分けて干す作業なんです。干し作業の時は会員から『来年は大豆とか、つぶのどかいものにしよう！』という声が出るくらい大変！でも『菜の花会』なんだから豆を作るわけにもいかないじゃないですか。



菜種の収穫について熱く語る橋本さん

のお話を伺うことにしました。

橋本さんはずっと小学校の先生をされていたそうで、にこやかに話される中にもちゃんとした気骨を感じさせる方でした。公務員の頃は東海村の反原発の運動については新聞等で読んでいましたが、自分では関わらなかったそうです。退職してJCOの事故が起きた後、反原発運動を続けている友人、現町会議員の相沢一正さんが選挙に出た時点で、いろんな運動に関わるようになったそうです。

2001年10月に発足し、畑を借り、その年の秋に種を播いてから、今年で2回目の菜の花を楽しんだそうです。そもそも、あの臨界事故がおこってから、村の沈んだ雰囲気の中で、少しでも明るい方向を見いだそうという気持ちのあらわれだったという「菜の花会」ですが、なぜ菜の花なのか？という質問には「いや、相沢さんが『とにかく俺、菜の花が好きだから…』と

いうのが理由なんですよ」と橋本さんは笑います。相沢さんの子供の頃の思い出に結びついた菜の花で東海村を明るくしようという活動に参加している会員は7人、60歳を越えた農業経験の無い高齢者がほとんどですが、気構えだけは人一倍強い仲間、会の理想は「地産・地消」を目ざし、食と農産物の循環を基本とした農のあり方を追求するということで、自然農法により利益や効率・画一化とは無縁の作物栽培の実践をするというなかなか高邁なものなのです。前年の12月に落ち葉を集め、もみガラ、こめかなどを加えて、堆肥作りをすることから始まり、翌年の9月下旬に畑を耕し、堆肥を入れて10月下旬種まきをします。堆肥作りも本格的で近隣のクヌギ林から落ち葉を軽トラ一杯に集めて畑まで運んだそうです。ところが素人のやること、軽トラ一杯集めたのはいいのですが、集めすぎて、運ぶ段になつて荷台に山に



背丈ほども伸びて一杯の実を付けた菜の花の「林」

とにかく胡麻つぶみたいな小さな種は収穫途中であたりにこぼれるし、さやと菜種をより分けるのがまた大仕事です。扇風機の風で殻を飛ばすとか、いろいろやってみたんですが、結局一番効率的だったのは、昔ながらの手でより分けるという方法でした。

そしていよいよこの菜種を絞る作業です。今市販の油はいろんなモノが入っていて危ないんですよ。私たちが菜種油を作る時も、何も入っていないと保たないと言われましたが、やり方があるんですね。水分をなるべくとってしまうのが大切なんです。やり方を鹿児島島の専門家に教えてもらいました。油を熱してかき混ぜながら水分をとばすのです。」

「こうしてできた菜種油は香りがあって、素晴らしい美味い。やっぱり天ぷらに使うのが一番味がわかります。サツマイモの天ぷら、私達の作ったサツマイモのおいしさを全部引き出

してくれましたね！

親しい人や反原発の人に配ったら思わぬ人から反応がありました。いつか給食に使って子ども達に食べてもらいたいですねえ。でもいせん量がたりません。菜種油はみんな欲しいと言うし、畑はただで貸しますという申し出はたくさんあるけれど、自分で作ろうという人は少ないですね。

油はほしいが途中には手は出さない、全部はよく。何でもそうです。

私は戦後ロシアに抑留されていて小学校の6年生までロシアに暮らし、黒パンを食べて育った人間です。食糧難だったからなお黒パンは貴重で、美味しかった。戦後2年間はロシアで日本人がどんどんみすばらしくなり、だんだん食料が無くなって、その辺の土地を耕してジャガイモをまいて（そのジャガイモが美味しいんだけど）春まいたら秋に全部収穫しなくてはならないので、秋はすごく忙しい。そんな生

活を経験していると、体力的には衰えていても、菜種作りの大変さががんばれるんですよ。

でも今はモノがすぐに手に入るから、大変な思いしても自分で作ってみようとする人がなかなかいない。だから菜の花のメッセージが東海村に増えていくのは簡単ではないですよ。

それに60%が原発関係の職場で成り立つ東海村では、反原発の言葉はタブーです。

私は昭和30年代がひとが生活していくのに良い時代だと思っています。30年代に戻れば、原発なしで暮らしていきます。生活のバランスが良くなって、モノが少ない、モノにおおわれず、能力を図らない生活。モノを無駄にしない生活。モノが少ないともっと工夫すると思うんです。」

生活を30年代に戻そうという橋本さんの熱いお話しに引き込まれているう

ちに約束の時間が過ぎていきます。菜の花の季節は過ぎてしまったけれど、とにかく実際の畑を見せていただこうとインタビュを打ち切りました。

連れていっていただいた菜の花畑は菜の花ってこんなに大きくなるのかとビックリする勢いで茂っています。花が終わって若いさやができ、その中には小さなグリーンピースのような実が鎮座しています。同行したスタッフが早々とその種を味見して旨いにつぶやきます。

えっ、生でも食べられるの？と半信半疑で食べてみたのですが、優しい甘さと爽やかな青い風味です。

「これが油になったらさぞかし美味しいだろうな、この菜種油で揚げた、那珂町名産のサツマイモの天ぷらはどんな味がするんだろう…」

と想像して今にもよだれを垂らしそうな顔をしていたら、案内してくださったナー ज्याの輪の谷田部さんが、

「今年は私も菜種の収穫のお手伝いをするから、できた油をいただいで、JCFに持っていつて、天ぷら作ってあげるよ」

と嬉しい約束をしてくださいました。畑のわきにある堆肥置き場もを見せていただきましたが、ふかふかと暖かい『本物』の堆肥からは「菜の花会」のみなさんの暖かな気配が伝わってくるようでした。

簡単には進まなくても、いつの日か東海村に菜の花がいつばいになる日を夢見て、そしてその黄色が注意信号の黄色ではなく、シアワセの黄色い色になりますように、と折って菜の花畑を後にしました。

「菜の花会」のみなさん、楽しみながら息長くがんばって下さい！





よろずそこつどうほんほ 萬粗忽堂本舗

店主 村石 保

その六

偏愛のココロ③【ジッポー (Zippo) 後編】

煙草を吸わなくなつて半年が過ぎた。ウソ？ ホント!? 奇跡だ!! とは周囲のスズメたちの声。先日、それまで煙草を買っていた自販機の前を、久しぶりに車で通りかかったところ、自然に車のスピードがダウンした(?)。刹那、「買い置きは大丈夫か!」という、黄色信号が頭の中で点滅した。その直後、一滴の冷ややかな汗が背中を伝わった。そ

れは、3秒間ほどの幻覚であつたのかもしれない。習慣とは、げに恐ろしいもの。知らぬ間に本人ばかりか周囲にまで多大な影響(習慣)を及ぼしていたからである。

いまだに私の顔を見る度に、「火を貸して下さい」と、ライターを持たないを旨とする喫煙家がいるかと思えば、私が椅子に座るや否や、電光石火の早技で灰皿を持ってきてくれる御婦人もいる。

そのご婦人、あたかも当方の真偽を確かめるがごとく「タ・バ・コ、やめられたんでしたよネ……」と疑りぶかい視線を投げかけてくるのである。

この人、私が煙草を吸わなくなったことを、我が事のように喜んでくれていたはずなのに、これでは非行少年が、オバサンに監視されてるようである。

これって気のせいであろうか。それとも自覚無き被害妄想が成せる禁断症状というものであろうか。

久しぶりに会った友達と食事をした。例によってウエイトレス嬢に、「お煙草はお吸いになられますか?」とマニュアル的に尋ねられたから、「えー、スイマセン」つてアナログ的に返答したら、「それっ

て、謝っているみたい……」と、友達。

三十余年間の喫煙生活には、それなりの〈思い出〉や〈記憶〉というものがある。とりわけライターは、わが掌(たなごころ)に、今も鮮明な記憶としてある。いったいこの掌を、幾つのライターが通り過ぎて行っただろうか。ライターは、やはり MADE IN U.S.A. のジッポー (Zippo) に尽きる。第二次世界大戦やヴェトナム戦争当時の、兵士たちへの支給品であつたように、ジッポーもまた戦場の産物であつた。

当時、煙草はラッキー・ストライク、それも両切でなくてはならなかったし、ライターなら銀メッキのジッポーと、相場は決まっていた。何れも、もつと時代が若かった頃の、まだ、どこかでアメリカに憧れを抱いていた頃の象徴でもあつた。

その昔、蓋を開けた時の「カチッ」という乾いたジッポー独特の音を「妙に切ない……」と表現した人がいた。煙草を吸わないのに、あの「湿ったオイルの匂いが無性に好き……」と云った人もいた。初めて手にした真新しいジッポーに、オイルをし

み込ませたときの興奮はいまだに忘れられない。それは、実質など微塵も伴わない男になるための、もう一つの儀式でもあつたし、一步でもアメリカに近づきたいという虚しい行為でもあつた。

何かの折に貰った総革張りの気障なジッポーの不思議な感触も忘れられない。黒い漆塗りなどというコレクター垂涎もののオシャレな逸品もあつたが、何れもいつの間にか無くしていた。

あれらのジッポーはどうしているのだろうか。偶然に拾った人が、使ってくれているのだろうか。それとも、塵芥のごとくこの世から消え去ったのだろうか……。

不思議なことに無くしたジッポーが現れたことは、これまでに一度もないが、なんだか昔の女を偲んでいるみたいで、未練がましい話でもある。

百円の使い捨てライターでは軽すぎた。ダンヒルやデュポンでは重すぎた。ジッポーだけが、大きさも重さも、最も馴染んだ存在であることを、わが掌は今も覚えている。

ニュースクリップ

<国 内>

●不正溶接の疑い 297 カ所

青森県六ヶ所村の使用済み核燃料再処理工場にある貯蔵プールが不正溶接によって水漏れした問題で、事業者の日本原燃は、不正溶接を隠した疑いのある削り跡が1月末現在で297カ所見つかったと発表した。(2月5日 朝日新聞)

●**臨界事故裁判、ＪＣＯ元所長ら6人有罪**
茨城県東海村の核燃料加工会社ＪＣＯ東海事業所で99年9月、作業員2人が死亡した国内初の臨界事故をめぐる、業務上過失致死、原子炉等規制法違反の罪などに問われた同社幹部ら6被告と法人としてのＪＣＯに対し、水戸地裁は、いずれも有罪判決を言い渡した。安全審査をする国の責任には触れなかった。(3月3日 朝日新聞)

●**臨界事故裁判、水戸地検控訴せず**
ＪＣＯ臨界事故の裁判で水戸地検は、水戸地裁の判決に対し、控訴しないことを決めた。被告・弁護側も控訴せず、刑が確定する。(3月17日 朝日新聞)

●ふげん、原子炉停止

福井県敦賀市にある核燃料サイクル開発機構の新型転換原型炉「ふげん」が原子炉を停止し、24年にわたる運転を終えた。原発の廃炉は日本原子力発電の東海発電所に次いで2例目。(3月29日 朝日新聞)

●不明のプルトニウム 59 キロ

核燃料サイクル開発機構の東海再処理施設で過去25年間に206キロ分のプルトニウムの行き先が不明とされた問題で、文部科学省は、不明量は最終的には59キロという調査結果を国の原子力委員会に報告した。(4月1日 朝日新聞)

●**浜岡4号機、シュラウド67カ所にひび**
中部電力は、浜岡原発4号機の原子炉内にあるシュラウドの最下部内側にある溶接部で、全周にわたる67カ所にひび割れがあったと発表した。(4月3日 朝日新聞)

●東電原発がすべて停止

東京電力は、福島第一原発6号機の出力を下げ停

止作業に入った。東電の原発は、トラブル隠しや検査偽装の発覚で再点検を迫られ次々に停止しており、これで東電の全原発17基が停止となる。(4月14日 朝日新聞)

●ＪＣＯ、再開断念

臨界事故を起こしたＪＣＯについて、親会社の住友金属鉱山は、核燃料加工事業の再開を断念したと発表した。周辺住民への補償対応や放射性廃棄物の保管管理のためＪＣＯは存続させ、毎年約8億円以上かかる経費の肩代わりも続ける。(4月18日 朝日新聞)

●京大原子炉、休止へ

京都大学原子炉実験所（大阪府熊取町）の研究用原子炉が06年3月で運転を休止することが決まった。(5月3日 朝日新聞)

●東電、柏崎刈羽6号機を起動

東京電力は、柏崎刈羽原発6号機の原子炉を起動させた。当直操作員が制御棒を引き抜く作業を、経済産業省原子力安全・保安院の安沢・特別原子力施設監督官や東電職員約50人が見守った。(5月7日 共同通信)

●原研ＪＴ－60実験棟で冷却水漏れ

茨城県那珂町にある日本原子力研究所那珂研究所の臨界プラズマ試験装置（ＪＴ－60）実験棟本体室で、冷却水配管周辺から水漏れが発生した。(5月8日 時事通信)

●原研の研究用原子炉が自動停止

茨城県大洗町の日本原子力研究所大洗研究所の高温工学試験炉（ＨＴＴＲ）の原子炉が、冷却材のヘリウムガス流量の低下を感知したため自動停止した。(5月21日 共同通信)

●福島第一6号機で試験「気密性は確保」

東京電力による気密性データ不正操作問題を受け、福島第一原発6号機で原子炉格納容器気密性確認試験のデータ測定が行われ、東電は「許容値を満たし、健全性は確保された」と発表した。(5月23日 福島民報)

●地震で女川原発3号機が自動停止

経済産業省原子力安全・保安院によると、東北地方を襲った地震の影響で、運転中の東北電力女川原発3号機が自動停止した。(5月26日 共同通信)

●女川原発3号機、一時水漏れ

東北電力は、地震で自動停止した女川原発3号機を点検したところ、主蒸気系の細管の接合部1カ所で放射能を含む冷却剤がにじんでいるのを見つけたと発表した。水漏れは既に止まっており、同社は「微量で安全上問題となるものではなく、周

辺への放射能の影響もない」として、運転を再開させる見通し。(5月27日 河北新報)

●**福島第一6号機、国が「安全宣言」**
東京電力の原発トラブル隠しなどの影響で、福島県内の原発10基すべてが停止している問題で、経済産業省原子力安全・保安院の佐々木宜彦院長は、原発の地元8町村長らに「福島第一原発6号機の安全運転に支障がないことを国として確認した」と述べ、事実上の「安全宣言」をした。(6月1日 共同通信)

<海 外>

●イラン、「核疑惑」の原発公開

イラン政府は、ロシアの技術援助でペルシャ湾岸のブシェールに建設中のイラン初の原発を報道陣に公開した。米国が核兵器開発の疑惑を指摘する中で、平和利用を主張するイランは透明性を印象づける狙いがあると見られる。(3月11日 朝日新聞)

●劣化ウラン弾使用認める

米中央軍のブルックス准将は、カタールの前線司令部で記者会見し、イラクでの空爆で劣化ウラン弾を使用したことを初めて認めた。「非常にわずかな量しか使っていない」と述べたものの、使った日時や場所には言及しなかった。(3月26日 朝日新聞)

●戦後もイラク査察実施を

国際原子力機関（ＩＡＥＡ）のエルバラダイ事務局長は、イラクの大量破壊兵器の検証について「国際的で公平な査察だけが信頼を得ることができる」と述べ、イラク戦争後もＩＡＥＡが査察を実施し、その結果を国際社会に示すべきだとの考えを表明した。(3月31日 朝日新聞)

●北朝鮮「核兵器を保有」

米政府高官は、北京で開かれていた米朝中の3者協議で、北朝鮮が核兵器の保有を表明し、使用済み核燃料の再処理も完了したと米側に伝えたことを明らかにした。(4月24日 朝日新聞)

●キルギスでウラン処分場崩壊の恐れ

キルギス政府は、放射性物質ウランの廃棄物処分場が地滑りで崩壊する危険性が高まっているとして、国連などに緊急支援を求めた。最悪の場合、周辺国を含め中央アジアに広範な放射能汚染が起き、300万人以上が被曝の危険にさらされるという。(5月2日 共同通信)

●台湾が脱原発法案、アジアで初の動き

台湾の行政院（内閣）は、原子力発電所の段階的廃止や核兵器の製造・使用禁止などを盛り込んだ「非核国家推進法」草案を了承、立法院（国会）に送ることを決めた。脱原発はスウェーデン、ドイツなどが決定済みだが、アジアで「脱原発」を目指す動きは初めて。(5月7日 共同通信)

●米が小型核開発再開へ

米上院軍事委員会は、10年ぶりに小型核兵器の研究開発の凍結を解除するとともに、関連費用を含む04年度の国防総省予算を可決したことを発表した。(5月9日 朝日新聞)

●イラク核汚染に緊急対策必要

国際原子力機関（ＩＡＥＡ）のエルバラダイ事務局長は、激しい略奪を受けたイラク中部のツワイサ原子力センターなどの施設で放射能汚染が発生しているとの報道に対し、「専門家による緊急対策が必要」と警告、米政府などにあらためてＩＡＥＡ専門家チームの受け入れを要求する声明を発表した。(5月19日 共同通信)



原発やめよう全国集会 2003
子どもたちに核も原発もない未来を！

6月7日、「原発やめよう全国集会2003」が東京・代々木公園で開かれた。JCFは茨城「NGO原子力防災研究会」のブースの一面をお借りして参加した。

11時過ぎに代々木公園に着くと、根本がんさんがここにこちへ出てきてくださった。那珂町の谷田部裕子さんが駆け寄ってきて、さっそく、ソーラークッカー「きらびか」を作っているらしいやうな滝沢本春さんを紹介してくださる。

とにかくたくさんさんの団体が集まっていて、一巡りしているともうお昼を過ぎていた。ようやくゆつくりと今日の集会のチラシに目を通した。

(開催スローガン)

- ・原発なくとも電気はだいじようぶ
- ・原発政策・核燃料サイクル政策の大転換を。エネルギー政策を変えて、脱原発へ
- ・欠陥原発を動かす「維持基準」を許さない
- ・劣化ウラン弾許すな
- ・もんじゅを廃炉に
- ・有事法制に反対しよう
- ・放射能のゴミ捨てを許すな
- ・六ヶ所再処理工場を動かすな
- ・JCO臨界事故ヒバク被害者の救援・支援を！国・核燃料サイクル機構の責任も追及しよう
- ・プルトリウム利用をやめよう

たくさんさんの団体・個人の方々がこの集会に賛同し、メッセージを寄せていた。主催者発表によると、今日は5000人集まっているらしい。5000人の想いというのはどんなに重いだろう。

4時からのパレードのことを考えて、まずはお昼ご飯！と、思っていたら、谷田部さんがいいところをみつけたと言ってきた。青森から、今朝採れたてのホタテを焼いて売っているところに足を運ぶ。ホタテを売るなんてすごいアイデア！いい香りのホタテをほおばりながら、このホタテのためにも、六ヶ所再処理工場を稼働させてはいけなと、私のお腹が言っていた。

あれも見ておきたい、これも知っておきたいと私の分身がいくつも欲しかったが、そう思った中で特に胸を打ったのは、祝島の女性たちのメインステージでの登場だった。

祝島は、原発立地予定地である山口県熊毛郡上関町の対岸の島だ。この島では毎週原発反対の集会を開いているという。しかも20年間も。海を相手に生活しているこの女性たちは、魚をさばくように、原発反対運動を生活の中でたんたんとしているのだ。笠木透さんたちと一緒に歌う「祝島賛歌」が、また面白い。この女性たちの力強さ、おほかさきに圧倒され、自分が恥ずかしくなった。

頭がぼうつとしたまま、パレードに参加した。歩く



道は渋谷、原宿といったイマドキの若者の街を突き抜けている。道路脇から「原発って何が悪いの」と言う女の子の声が聞こえてくる。パレードを見て、初めはなんだこれ、と思ってくれていた。原発の存在を知ってくれることから始まるからだ。ただ、「原発いらない」の声が小さくなると「シユプレヒコール！」と叫ぶのには苦笑いしてしまった。

1時間あまりのパレードを終え、解散した。

みんな、今日の集会でなにを思っただろう。私はいまだに頭の中が整理されていない。感じたことを整理しながら、頭の中では「祝島賛歌」がめぐっている。「どこかに忘れてしまったものを、今も忘れず伝えている手をふれば手をふって、こたえてくれる人たち」

全国集会の詳しいことをお知りになりたい方は次のホームページをご覧ください。

<http://www.nonuke2003.net/>

(事務局・重岡)

こんにちは！

Здравствуйте!

ベラルーシからやって来た サーシャにインタビュー



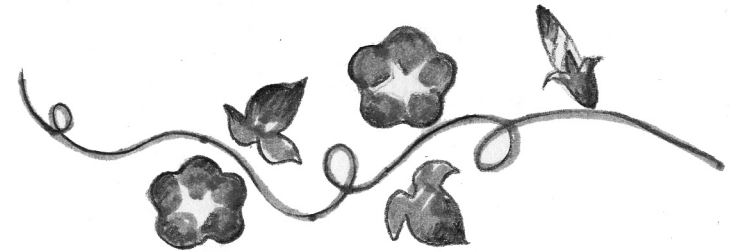
「私の名前はアレクサンドル。サーシャと呼んでください。ベラルーシから来ました。家族は、父と母と3人です。家族はビチェフスク州のゴロドフ市に住んでいます。ミンスクから300キロです。

日本の印象はハラショーです。もうガニさんと一緒にコンビニで働いています。そこでは、インドネシアや中国やカザフスタンなどたくさんの方が働いていて、インターナショナルです。

日本の食べ物ハラショー。

はい、日本の生活に慣れました。私は、毎日、日本語を9時から3時まで勉強します。私は、水曜日、土曜日には、合気道のトレーニングをしています。私は、ベラルーシでも合気道をやっていました。

僕の師匠のしらやき先生は七段です。柔道、剣道、合気道は初段、二段、三段です」。



昨年からJ C F事務局でロシア語講座を受け持っているカザフスタン出身のガニさんが、ベラルーシから信州大学にきている人がいます、と言って連れてきてくれたのが、アレクサンダー・フェダラウィチェスさんだ。

日本に来てから、たった1週間だというのに、上記の内容を全部日本語で話してくれました。

なんと、ベラルーシ科学アカデミーの研究員、専門は金属加工だそうです。信州大学工学部（長野）の清水先生が書かれた論文がロシア語に翻訳されており、清水先生をたよって日本に勉強に来たそうです。

9月まで、松本で語学研修をしています。

サーシャさんが、毎週事務局に顔を出してくれる様になってから、ロシアのアネクドート（小話）を聞くのが楽しみになりました。

そして、毎週ベラルーシと繋いでいる衛星通信を見もらったときも、英語の通じない担当医師の血小板や白血球の数を、横から即座に数字で書いて示してくれたり、助けていただいています。

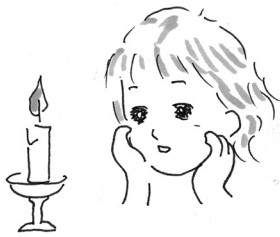
10月から、長野市に引っ越してしましますが、J C Fのイベントなどに参加していただきつつ、国内での日本—ベラルーシの交流を紡ぎたいと思っています。

サーシャさんの身長は、信州大学の付属病院の廊下を歩いていたら、天井から少し下がっている区切り板に頭をゴツンとぶつけた位です。

こんにちは！

Здравствуйте!

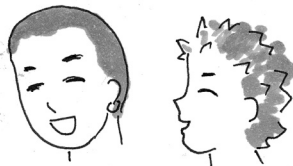
ちょっと電気
Черношка



火をじっとみつめたり



おいしいお酒を
のんだり...



友だちとおしゃべりしたり



楽器を
かなでたり

をけしてみて...

チェルノ-シカ

⑦

6/22 夏至の夜、

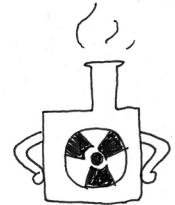
夜の8時から10時まで
電気を消して
キャンドルナイトをという
「100万人のキャンドルナイト」
があったんだよ。
みんな あてきな
キャンドルナイトを
すごせたかな...

「1000000人のキャンドルナイト」
<http://www.candle-night.org/>

暗闇、ステキだね



月を ゆくりと
ながめたり...



バイ
バイ

辺境で診る 辺境から見る

中村哲



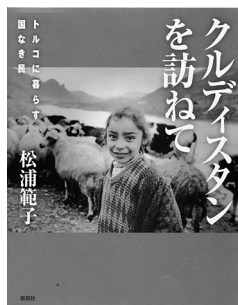
辺境で診る 辺境から見る
著者・中村 哲
発行・石風社
定価・1800 円＋税

Book

アフガニスタン、パキスタン北西辺境州で19年活動が続けているベシヤワール会現地代表・中村医師の時事評論・随想集。
「本文より」戦争、飢餓、貧富の格差、近代化の功罪、ありとあらゆる人間の悲惨と栄光が明瞭なベシヤワールで、私のメッセージは平凡である。目をこらして何が虚構で、何が事実かを見つめ、世の流れに惑わされぬことである。人の欲望は限りなく、どこにでも不満と不幸を見いだす。しかし、私たちは自分で生きていくのではなく、恵みによって生かされているのだ。（中村哲）

クルディスタンを訪ねて

松浦範子



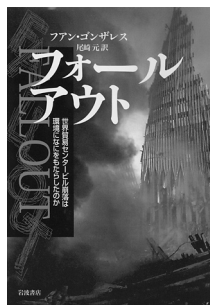
クルディスタンを訪ねて
—トルコに暮らす国なき民—
著者・松浦範子
発行・新泉社
定価・2300 円＋税

Book

「世界最大の国なき民」クルド民族は、チグリス、ユーフラテス川の上流地域に古くから暮らしてきた先住民族。現在、その土地はトルコ、イラン、イラク、シリアなどの国境線で分断され、各国でマイノリティとなったクルド民族は同化政策や差別、熾烈な迫害に直面している。写真家である著者が綴ったクルドの人々の文化、生活の素顔、苦難の現実。

フォールアウト

ファン・ゴンザレス



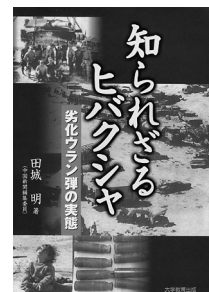
フォールアウト
著者・ファン・ゴンザレス
訳者・尾崎 元
発行・岩波書店
定価・1700 円＋税

Book

2001年9月11日、テロ攻撃によるニューヨークの世界貿易センタービル崩壊に伴い、膨大な量の有害化学物質（死の灰）フォールアウトが大気中に放出され、環境が汚染された。そのために、救助・復旧活動に従事した人々や、付近住民に深刻な健康被害をもたらした。しかし、行政当局は早々と「安全宣言」を出し、情報操作で環境汚染の事実を隠蔽し続けた。「9・11」の知られざる事実

知られざるヒバクシャ

田城明



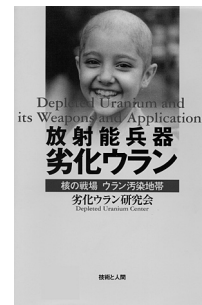
知られざるヒバクシャ
—劣化ウラン弾の実態—
著者・田城 明
発行・大学教育出版
定価・1500 円＋税

Book

著者は中国新聞編集委員。劣化ウラン弾が使用されたイラク、旧ユーゴスラビアでの被害の他に、アメリカ国内の劣化ウラン弾製造工場や試射場周辺の放射能汚染・健康被害、アメリカ・イギリス両国の帰還兵やその家族の健康被害の実態が丹念な取材で報告されている。2000年4月から7月まで中国新聞に連載された。

放射能兵器劣化ウラン

劣化ウラン研究会



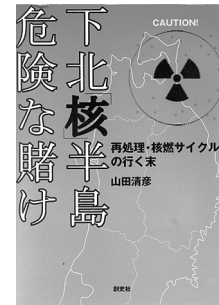
放射能兵器劣化ウラン
—核の戦場 ウラン汚染地帯—
著者・劣化ウラン研究会
発行・技術と人間
定価・2500 円＋税

Book

「史上最悪の大量殺戮兵器」劣化ウラン弾の実態に迫る。実戦で使用されたところでの被害状況や、劣化ウランがどのような兵器に使われているのかを詳述。また、核燃料サイクルの過程で生み出される劣化ウラン、回収ウランが劣化ウラン兵器に使われていることが述べられ、原子力の「軍事利用」と「平和利用」の区別などできないことがわかる。

下北「核」半島危険な賭け

山田清彦



下北「核」半島危険な賭け
—再処理・核燃料サイクルの行く末—
著者・山田清彦
発行・創史社
定価・1200 円＋税

Book

原子力関連施設が集中する下北半島の現状が詳述されている。現在稼働しているウラン濃縮工場、使用済み核燃料貯蔵施設などのほか、再処理工場、原発、中間貯蔵施設などが建設中または計画にある。そのうえ、核融合実験施設（ITER）の日本の誘致候補地にもなっている。再処理工場からは膨大な量の核廃棄物が生み出され、環境が汚染される。このまま下北を「核のゴミ捨て場」にしていけるのだろうか。



第56号

発行日 2003年6月26日

発行人 鎌田實

発行所 日本チェルノブイリ連帯基金

イラスト題字 貝原浩
イラスト 武内裕子

表紙デザイン 酒井隆志

スタッフ 神谷さだ子
布山みな子
重岡朱
高橋俊光
佐内裕之

■編集後記

先日東海村で、原発銀座福島県いわき市生まれの神田香織さんが、生存をかけて語る講談「チェルノブイリの祈り」を、観た（神田さんの講談は照明、音響入りの「立体講談」なのです）。日本の伝統話芸の素晴らしさに改めて脱帽。神田さんは語りの間合の張り扇の一打ちで、あっという間に時空をワープさせる。講談の世界では『張り扇三年』と言われるのも納得。ロシア青年を語る神田さんの発声法に、宝塚の原点は講談かもあったり…。10月15日、松本での原作者アレクシェービッチさんとのジョイント講演で、講談の魅力も味わって欲しい！（布山）

■事務局日誌■

2月

3日 第67次訪問団1班出発

10日 第67次訪問団帰着

14日 NPO学習会

15日 長野友の会、スライド「ナージャ希望の村」上映会

27日 高木学校公開研究会

●ゴメリ州立病院との定時衛星通信（信州大学）12,19,26日

3月

6日 新生児医療ミーティング

8日 NPOフォーラム in 信州

12日 コープ長野学習会
よろずやミーティング

15日 JCFを語る会

17日 アロマライフ安曇野

22日 信州大学公開講座、講師として参加

29日 生きることの学び合い講座・その1

●ゴメリ州立病院との定時衛星通信（信州大学）5,12,19,26日

4月

10日 アルプスフロント創世会議

22日 JCF講座打ち合わせ

24日 コープ長野、環境講座に講師として参加

26日 生きることの学び合い講座・その2

●ゴメリ州立病院との定時衛星通信（信州大学）2,9,16,23日

5月

2日 ロシア語講座開校式

11日 第68次訪問団出発

18日 第68次訪問団帰着

東海村・講談「チェルノブイリの祈り」参加

23日 NPO学習会

24日 生きることの学び合い講座・その3

31日 理事会

●ゴメリ州立病院との定時衛星通信（信州大学）7,14,21,28日

6月

7、8日「ナージャの村」「アレクセイと泉」松本上映会

7日 原発やめよう全国集会 2003

11日 上松中学校講演

14日 JCF講座「東海地震と浜岡原発」

21日 「アレクセイと泉」佐久上映会

●ゴメリ州立病院との定時衛星通信（信州大学）4,11,18,25日

JCF／日本チェルノブイリ連帯基金

●本部 〒390-0303

長野県松本市浅間温泉 2-12-12

TEL 0263- 46- 4218 FAX 0263- 46- 6229

E-mail jcf@jca.apc.org

Website http://www.jca.apc.org/jcf/

●東京 〒164-0003

東京都中野区東中野 4-4-1 ポレボレタイムス社気付

TEL03- 3227- 1405 FAX03- 3227-1406

●京都 〒607-8405

京都府京都市山科区御陵田山町 13-3

TEL075- 591- 7772

アレクセイと泉

Алексей и Крыница

上映予定

上映日	上映場所	問い合わせ先・備考
・7/6（日）	北海道 網走市エコーセンター 2000	090-8429-3905(井上)
・7/6（日）	北海道 北見市北見芸術文化ホール	0157-31-0909(田中) 写真展(7/2～6)
・7/6（日）	東京都 多摩市立やまばとホール	090-6797-0939(村松)
1回目上映後 桃井和馬(写真家) & 本橋成一トークショー		
・7/11（金）	茨城県 つくば市ノバホール	029-852-0978(中村) 監督参加 写真展(7/8～13)
・7/12（土）	埼玉県 所沢市民文化センター	042-922-0462(森田) 監督参加 写真展
・7/13（日）	香川県 高松市県民ホール	087-821-8996(下浦) 監督参加
・7/18（金）	神奈川県 二宮町生涯学習センター	0465-74-2777(高橋)
・7/20（日）	秋田県 湯沢市湯沢文化会館	0182-44-5137(奥州) 監督参加 写真展
・7/21（月）	秋田県 秋田市シアタープレイタウン	018-862-6428(加藤)
・8/2（土）	新潟県 上越市リージョンプラザ	025-523-7362(西脇)
・8/9（土）	兵庫県 姫路市あいめっせホール	0792-46-2134(芝山)
・8/9（土）	大阪府 河内長野ラプリーホール	06-6719-2233(大平) 監督参加
・8/10（日）	兵庫県 芦屋市民センター	03-3227-1870(サスナフィルム)
		スペシャルゲスト×本橋成一トークショー
・8/13（水）	千葉県 柏市 アミュゼ柏	04-7173-7626(友の家) 監督参加
・8/30（土）	茨城県 牛久市エスカードホール	
・8/30（土）	神奈川県 戸塚公会堂	045-871-8497(星野)
・10/4（土）	埼玉県 さいたま市産業文化センター	048-832-9565(佐藤)
・10/25（土）	長崎県 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館	095-814-0055(深堀)

※上映予定は変更になることがあります。
サスナフィルムにご確認下さい。

情報提供・サスナフィルム（03-3227-1870）

2003年ベラルーシ泉ツアー日程

日付	行動予定	宿泊
7/23（水）	成田発 12:00 (SU576) モスクワ着 17:05 モスクワ発 21:45 (SU169) キエフ着 22:30	キエフ
7/24（木）	ソフィア寺院・ベチョールヌイ修道院 チェルノブイリ博物館	キエフ
7/25（金）	チェルノブイリ原発	ゴメリ
7/26（土）	埋葬の村（ドゥチチ村・ブジシチェ村） ベトカイコン博物館・森のパーティー	ゴメリ
7/27（日）	ブジシチェ村・「アレクセイと泉」上映会	ゴメリ
7/28（月）	ゴメリ州立病院 ゴメリ発 19:25	夜行列車
7/29（火）	モスクワ着 9:20 モスクワ観光 モスクワ発 19:10 (SU575)	機内泊
7/30（水）	成田着 9:40	

◎アレクセイとナージャの村を訪ね、
本橋監督とブジシチェ村で「アレクセイと泉」の現地上映会を行います。